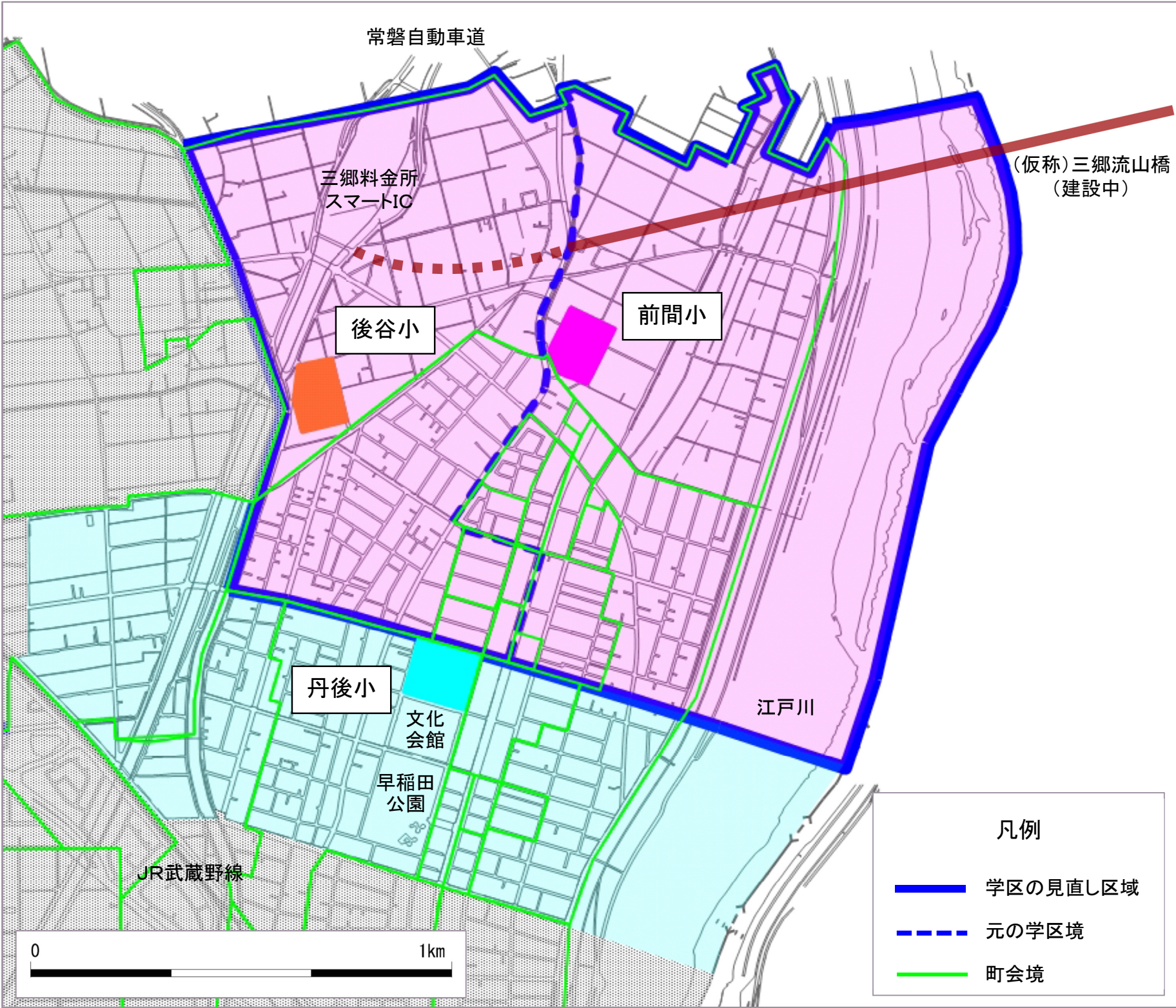


これまでの審議内容を踏まえた学校統合案

学校の配置



統合の概要

- 1 統合の対象校**
前間小と後谷小の2校を統合する。
- 2 統合校の位置**
学校の位置は、現在の前間小とする。
- 3 統合の時期**
令和6年4月に統合とする。
- 4 その他**
丹後小は、今回の統合対象に含めず、現状のとおりとする。
なお、丹後小との統合については、今後の児童数及び学級数等の推移を見極めたうえで判断する。

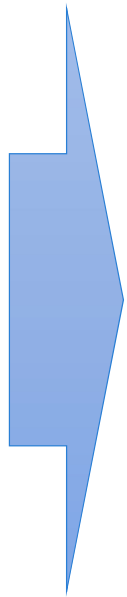
学校統合案のポイントと留意点

学校統合案のポイント

前間小・後谷小
2校統合

学校の位置
前間小

令和6年4月
統合

- 
- 学級数は、適正規模の基準である12学級以上になる。
 - 各学年2学級以上になり、クラス替えができるようになる。
 - 通学距離は、適正配置の基準である2kmの範囲に収まる。
 - 前間小は、学校の位置が学区のほぼ中央になるため、通学の最大距離を短くできる。
 - 前間小の校舎を利用することで、教室数を十分に確保できる。
 - 丹後上町会が1つの学区に収まり、みどり町会内の学校が1つになる。
 - 統合の準備や周知期間を考慮し、令和6年4月統合とする。

学校統合に向けての留意点

- 保護者や地域住民に対して、学校統合の必要性を十分に説明する。
- 通学時の安全については、十分に注意を払う。
- 児童の精神的な負担を軽減するため、統合前から交流行事等を行う。
- 魅力ある学校になるよう、施設の整備に努める。
- 通学路、学校行事、PTA活動等の課題を整理するために、統合準備委員会を設置する。
- 閉校となる学校の在校生・卒業生や地域の方の学校に対する思いに配慮する。

今後のスケジュール案

